

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
ダーク&ミスコミュニケーション		選択	1	2.3	後期 (集中)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
渡邊 隆文 他	B307	t.watanabe	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt;人間コミュニケーション学科のディプロマポリシーにある「豊かな人間観」と「多様性を尊重する姿勢」を育むため、多角的な視野を培い、異なる背景や視点を尊重できる、多様な自己表現・コミュニケーションの実践を体験する。</p> <p>&lt;概要&gt;本科目は1年次に修得したコミュニケーションの基礎を発展させて、多様なコミュニケーションの実態を体験させて、学生の視野・視座の拡充・柔軟を促す学際的科目群である。この授業では、コミュニケーションの悪用とすれ違いが如何なる特徴・功罪を具備しているか、様々なワークを通して体感してもらい、自分自身の情緒と感性を豊かにさせ、社会実装への展開を考察していく。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	本科目のテーマについての得意不得意は成績に関係しない。苦手意識を持っていたとしても興味・関心が少しでもあれば積極的に楽しんで受講してもらいたい。				
教科書	特に指定しない。				
参考書	講師により適時紹介する。				
外部教材	講師により適時紹介する。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	コミュニケーションの悪用とすれ違いの実際や理論が多様であることを認識し、自身の自己表現を成長させることができる。			HC(1)、(3)、(4)	
②	多様なコミュニケーションの見識を体験して、悪用やすれ違いを生まないために実際の社会現場で表現・応用する準備学習とすることができる。			HC(2)、(6)	
③					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	本科目全体の説明 (オリエンテーション)。 私の思うまま。操られてるの気づいてないの? — 相手を意のままにする心理操作のしくみを学ぶ	講義・演習 [担当] 渡邊・前川	授業内容について整理し、課題に取り組む。		3
2	その考え、本当にあなたのもの? — 無自覚に陥る洗脳の罠について学ぶ	講義・演習 [担当]渡邊	授業内容について整理し、課題に取り組む。		4
3	その話、信用しても大丈夫? — 騙されやすい人の特徴について学ぶ	講義・演習 [担当]渡邊	授業内容について整理し、課題に取り組む。		4
4	あなたは沼る人? 沼らせる人? — アメとムチ、催眠誘導の効果を学ぶ	講義・演習 [担当]渡邊	授業内容について整理し、課題に取り組む。		4
5	言っただけなのに相手に伝わらない! どうして? — コミュニケーションの構造とすれ違いのしくみを学ぶ	講義・演習 [担当]前川	授業内容について整理し、課題に取り組む。		4
6	あのひととの会話、いまいच्छりこない。どうして? — 交流分析をもとにすれ違いのしくみを学ぶ	講義・演習 [担当]前川	授業内容について整理し、課題に取り組む。		4
7	それ、ロジハラになっていない? — 「正論」のメリット・デメリットについて学ぶ	講義・演習 [担当]前川	授業内容について整理し、課題に取り組む。		4
8	NO となかなか言えない… どうしたら良い? — アサーションについて学ぶ	講義・演習 [担当] 渡邊・前川	授業内容について整理し、課題に取り組む。		3
試	/				

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	0	0	0	100	100
総合 力 指 標	知識・技術力	0	0	0	0	10	10
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	20	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	10	10
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	10	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	20	20
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	10	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	テーマごとに課題（ワーク）を課し、その内容および取り組みの姿勢を総合的に評価する。課題（ワーク）は授業内だけでなく、授業終了後に提出するものが含まれる。				学内掲示、オフィスアワー、そして、Microsoft Teams を利用して個別にフィードバックを行う。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	前川 真奈美						
教員の実務経験	渡邊隆文：社会福祉士取得後6年の実務経験を有する。						
実践的授業の内容	日々様々な場面で行われているコミュニケーションについて、教員自身の実践経験を踏まえた実践知と根拠に基づく理論知を比較しながら学習する。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Microsoft Teams を用いて諸事の連絡を行うので確認を怠らないこと。</li> <li>● 全 8 回が対面授業（面接授業）であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。</li> <li>● 今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。</li> <li>● 8 回完結、連続的な演習が多い構成の授業である。受講者は欠席なく、原則、全出席を必要とする。</li> </ul>						